

JAMCA ジヤムカ ニュース

The Japan Automobile Maintenance Colleges Association

No.55

2007年10月1日

発行 全国自動車大学校・整備専門学校協会
 協会事務局 〒160-0015 東京都新宿区大京町31
 ヴィップ新宿御苑 ☎ 03-3356-7066
 編集事務局 〒125-0002 東京都葛飾区西亀有3-28-3
 ☎ 03-3601-2535 FAX 03-3601-2988
 ホームページアドレス <http://www.jamca.jp/>



教員の資質向上について考える

北九州自動車整備専門学校理事長 中村 文彦
 全国自動車大学校・整備専門学校協会理事

今年度から協会理事に就任いたしました。微力ながらお役に立てるよう頑張りたいと思っています。

早速、JAMCAニュースに新任理事としての考えを書くようにということで、独り言のようなものですが、教員の資質向上について考えていることを述べてみます。

一級取得は教員の必須条件

一級自動車整備士が誕生して6年が経過しましたが、社会の認知はまだこれからというところだと思います。一級誕生と同時に取り組むべき課題として、それを教える先生方の教育が急務であったと思います。

一級整備士実現を念願としていた協会は、いち早く一級自動車整備士指導者講習会を開催し、私どもの学校からも多数参加させていただきました。これを機に全教員へ理事長命で、一級の資格を早急に取りよう督促もしました。

おかげ様で現在、校長以下11名が有資格者となっています。また、教員採用時には、早期に資格取得することを条件として課しています。これは自動車大学校の教員として必須の条件だと考えます。

夏季研修ベースに自己研鑽を

協会が実施している教職員夏季研修会では、教員の資質向上のため、1週間「缶詰め」状態にして専門教

科の指導法やコミュニケーション能力など徹底した指導をしていただいています。我が学園からは、教員3年目をひとつの目途として積極的に参加させています。この研修はその後の学生指導に大いに役立っています。

大切なことは、研修会参加をベースとして個々の教員が自己研鑽に励むことだと思います。当学園でも、校長をリーダーとして教員研修を行っています。一度自動車業界で仕事をしてきた教員なので、専門知識は大丈夫だと思っていますが、常に最新の技術の習得を心掛け、教員としての心構えを保ってもらうため、夏休みを利用して外部講師を招き、研修を重ねています。

資質向上のための人事考課

大学等は、自己点検評価と第三者評価を実施することが義務付けられており、専修学校に対しては、設置基準第1条の2で努力目標とされています。学園としては、自己点検評

価委員会の中で校舎の建て替えや見直しを行おうとしています。整備学校としては、実習設備の最新化や教室の配置などは重要課題で、準備委員会を立ち上げて検討に入っています。

また教職員の人事考課を実施していますが、皆が納得する評価の仕方はどのようにすればよいのか熟慮中です。それは教員の資質向上のための評価でなければなりません。それは同時に、受け入れた学生が2年間なり4年間、充実した学生生活を送れるようにするための改革でなければなりません。

学校はサービス業です。徹底したサービス提供を目指し、これからも学園運営に努めていきたいと考えています。会員校の皆様方、こうした点に関して、良いアドバイスがありましたらお聞かせ下さい。第三者評価の観点からも、メールでご意見を頂ければ幸いです。私のメールアドレスは下記の通りです。

nakamura@zenryo-g.com

CONTENTS

- 2面 OPINION
- 3面 我が校自慢
- 4・5面 一級課程卒業生の頑張り
と評価
- 6面 協会トピックス
- 7面 活躍卒業生・地区通信
- 8面 私の教材活用・編集後記